



しろさとまち 地域おこし 通信

—城里町地域おこし協力隊— Vol.47

平成29年度から活動している城里町地域おこし協力隊5名は、今月末で3年間の活動期間を終えます。それぞれの活動等について報告します。



村上 浩一

『島家住宅』を利活用するプロジェクトを3年間担ってきました。古民家を生かすには、地域の方々の理解と協力が必要であることを痛感するとともに、世代を超えた多くの方々がイベントを機に集い、語り、交流できることがこの古民家の持つ力だと確信しました。また、しろさとステーションにおいて、毎月1回開催した『しろさとラボ』については、将来、子どもたちが進学や就職で町を離れても、自分の故郷に素晴らしい『人』や『コト』があることを思い出してくれたら意義のある活動だったのではないかと思います。



後藤 啓介

田舎の現状を体感したい、課題を抱える地域の役に立ちたい、さらには自分の持つスキルを活用し、地域に貢献したいという志を掲げて3年前に移住しましたが、あっという間に月日は経ちました。いろいろな活動の中で出逢った方への感謝の気持ちでいっぱいです。協力隊という役職を満了しても、志を持ち続けながらこの城里町で生活していきます。今後も、「移住者＝よそ者」という概念を変えていけるような活躍ができるように、これからも町のために尽力していきたいと思っています。



渡辺 麗香

私は、就農に向けてナスの栽培を中心に、ショウガ、ソラマメなどの農業研修を行ってきました。協力隊の活動をとおして得られたものは沢山あります。農業の経験はもちろんですが、1番は人とのつながりです。1年目に研修をさせていただいた農家の皆さんに今でも声を掛けていただき、相談に乗っていただいているので、とても心強くありがたいと思っています。また、協力隊や新規就農の先輩たちなど、多くの仲間ができたのも嬉しく思います。これから農業を続けていくのに不安はありますが、楽しみもあります。これからもどうぞよろしく願いいたします。



日渡 香

城里町に来てから、あっという間に3年が経ちました。当初は農業についてよく分からずに研修に行き、農作業に慣れることに精一杯でしたが、次第に自分がやりたい農業の方向性が明確になってきました。今後は、城里町で有機農業による野菜作りに取り組んでいきます。将来は、加工品作りにも挑戦したいです。これまで親身になってご指導くださいました研修先の農家の皆さん、お世話になった方々に感謝いたします。ありがとうございました。これからもよろしく願いします。



井口 健司

3年間の農業研修を経て、町内で就農することを決めました。農業経験のない私を受け入れてくださった農家の皆さまには大変感謝しています。おかげさまで、作付けの計画を立て、就農に向けて準備を整えることができました。また、人と人とのつながりを強く感じた3年間でした。研修で学んだことや失敗したことを糧に、新しいことにも取り組み、農業を営む者として成長していきたいと思っています。これからもよろしく願いします。

問合せ まちづくり戦略課 ☎029-288-3111(内線228) 農業政策課 ☎029-288-3111(内線251)